

# お客さまへ

ご使用前に、この「取扱説明書」を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

## 安全のために必ずお守りください



誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに  
結びつく可能性があるもの



器具の改造や指定部品以外の交換はしない。  
(火災・感電・落下的原因)

器具やランプを布や紙などで覆わない。  
(可燃物をかぶせて使うと火災の原因)



器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。  
(火災・感電の原因)



誤った取扱いをしたときに、軽傷または  
家屋・家財などの損害に結びつくもの



お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士の  
資格が必要です。  
(火災・感電の原因)

ランプに塗料などを塗らない。  
(ランプが過熱・破損してけがの原因)

器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置か  
ない。  
(過熱して火災の原因)

節電その他の理由でランプを取り外して間引き点灯  
しない。

### インバータ器具の取扱い

■テレビ、ラジオなどの音響機器や、赤外線リモコン、  
ワイヤレス機器などに、雑音や動作不良を起こす場合  
があります。

### ランプ交換・器具の清掃

ランプ  
交換 適合ランプ  
FHF32EX-N-H

ランプは  
点滅回数が多いと  
短寿命になります

○当社製ランプを使用  
してください。

○やわらかい布にぬるま湯または水をつけて  
よく絞ってふきとってください。



器具・ランプを水洗いしない  
(火災・感電の原因)

### 蓄電池の交換

適合蓄電池 9H30EA

△警告



蓄電池はショート・分解・  
加熱・変形させないまた、  
火中に入れない(やけど  
や衣類損傷の原因)

### 知っておいていただきたいこと

○誘導及び空間波無線に対する影響

使用周波数が数百 kHz の誘導無線(同時通訳システム)及び数百 MHz の空間波無線の場合、雑音が入ることがあります  
ので事前確認することをおすすめします。100V 電源の場合には、接地工事することにより低減できる場合があります。

### 照明器具の寿命について

●照明器具には寿命があります。設置して8~10年経  
つと、外観に異常がなくとも内部の劣化が進行して  
います。点検・交換をおすすめします。

※使用条件は周囲温度30°C、1日10時間点灯、年間3000時間点灯です。

### 異常時の処置

△警告

煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る。(火災・感電の原因)  
煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

この説明書は、  
再生紙を使用  
しています。

三菱電機株式会社

〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船2-14-40

三菱電機照明株式会社

☎(0467)41-2729 (営業本部)

☎(0467)41-2773 (品質保証部サービス課)



このたびは三菱照明器具をお買上げいただき  
ありがとうございました。

E769Z713H20

保管用

## 三菱非常用照明器具 長時間定格形 有効点灯時間60分間

Easyeco Super II 逆富士形器具 【蓄電池内蔵形】

形名 KV-K4262EFH VPH

### 取扱説明書

○この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。またアフターサービスもできません。  
○電源周波数 50Hz、60Hz 共用形ですから、日本全国どこでも使用できます。

### 施工者さまへ

○施工の前に、この「取扱説明書」を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。  
○取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

### 安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、  
△警告、△注意の表示で区分して説明しています。  
表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

○ 禁止  
△ 警告

○ 必ず指示に従い  
△ 行ってください。



誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに  
結びつく可能性があるもの

○ 禁止  
△ 警告

配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。  
(絶縁破壊により感電・火災の原因)

○ 禁止  
△ 警告

施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術  
基準・内線規程に従い行う。



誤った取扱いをしたときに、軽傷または  
家屋・家財などの損害に結びつくもの

○ 禁止  
△ 警告

雨水のかかる場所で使わない。  
(水気・湿気が入り感電の原因)

○ 禁止  
△ 警告

器具を密集して取付けない。(10cm 以上離す)  
(器具の温度が高くなり火災の原因)

○ 禁止  
△ 警告

表示された電源電圧以外では使わない。  
(火災・感電の原因)

○ 禁止  
△ 警告

器具のノックアウトを外す場合はドライバー等によ  
り電線を傷つけない。  
(絶縁不良により感電・火災の原因)

○ 禁止  
△ 警告

狭い箱のような中で使わない。また、器具を隠して  
使う場合は、放熱を妨げない。  
(器具が過熱して火災の原因)

○ 禁止  
△ 警告

調光用専用器具以外は調光させない。  
(器具が過熱して火災の原因)

### お願 い

■周囲温度は5~35°Cの範囲でご使用ください。5°C  
以下の低温域での使用は、結露などにより絶縁不良・  
火災・感電の原因になります。

■インバータ器具の場合は、電力線搬送を使用した機器  
と電源を共用すると、電力線搬送機器が正常に作動し  
ない場合があります。

■天井面に取付ける場合、取付ける部分が平らな所に  
取付けてください。(すき間が発生することがあります。)

■直射日光や、空調機器等の排気口・温風吹出口付近の  
取付けはお避けください。(蓄電池の寿命が低下するこ  
とがあります。)

■商品監視システム(防犯センサー)の一部の機器はイン  
バータの周波数と干渉して誤作動する場合がありますので、  
事前に商品監視システムのメーカーにご確認ください。

■電源スイッチに片切スイッチを使用する場合、片切  
スイッチを電源の高圧側に設置してください。スイッチ  
を切っても微放電する現象の原因となります。

### 定期点検

■6ヶ月に1回、外観及び機能(非常点灯持続時間と切替  
動作)の点検を行う。[建築基準法施行規則第6条]

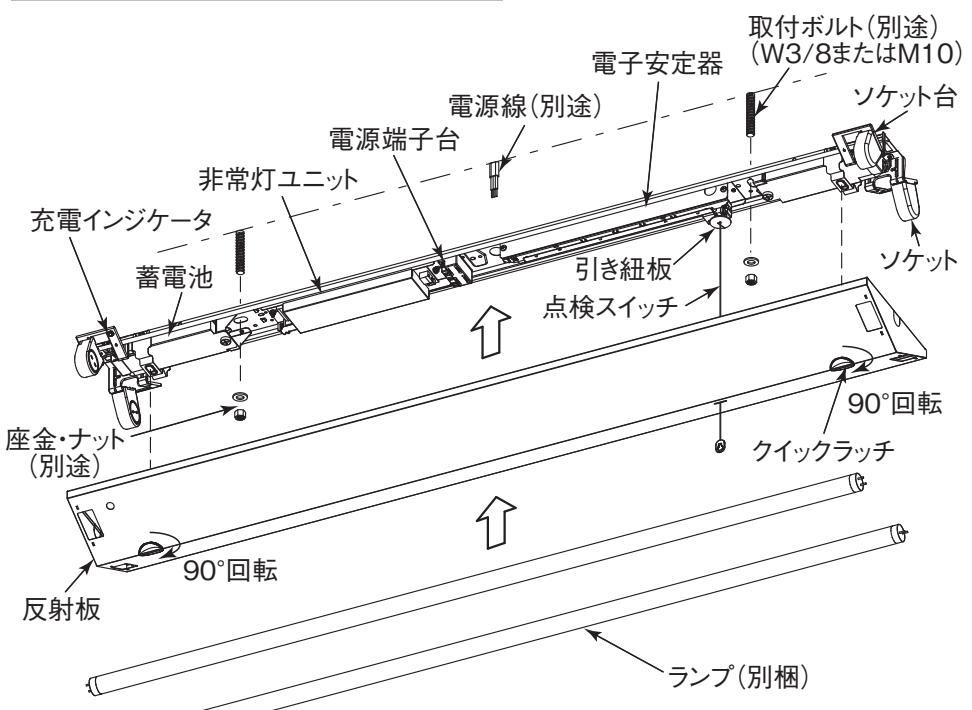
■48時間以上充電後、非常点灯持続時間が60分以下  
となったら蓄電池を交換する。

### 保証について

■保証期間は商品お買上げ日より1年間です。ただし、蛍光灯器具内蔵の安定器は3年間です。  
ランプ、電池などの消耗品は対象外です。詳細は弊社カタログをご参照ください。

## 各部のなまえと取付けかた

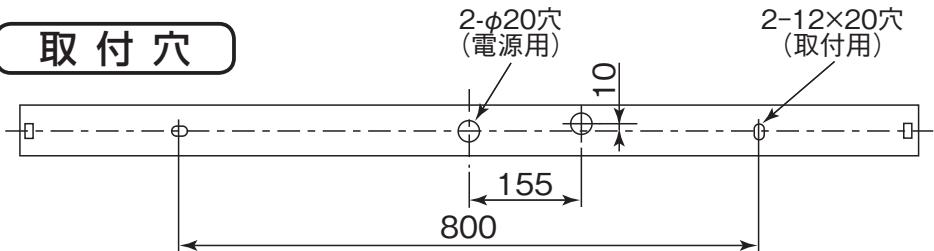
△警告 器具の取付けは取扱説明書に従い行う（不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因）



## 定格

| 使用ランプ    | 平常時         |             |      | 非常時              |
|----------|-------------|-------------|------|------------------|
|          | FHF32EX-N-H | FHF32EX-N-H |      |                  |
| 定格電圧     | 100V        | 200V        | 254V |                  |
| 入力電流 (A) | 1.02        | 0.50        | 0.40 | 密閉形<br>Ni-MH 蓄電池 |
| 入力電力 (W) | 101         | 98          | 98   | 9.6V<br>3,000mAh |
| 定格周波数    | 50Hz/60Hz   |             |      |                  |

## 取付穴



## 接続図

| 記号・名称          | 説明 |
|----------------|----|
| B : 蓄電池        |    |
| BL : 非常灯ユニット   |    |
| INV : 電子安定器    |    |
| LED : 充電インジケータ |    |
| SW1 : 点検スイッチ   |    |
| SW2 : 消灯スイッチ   |    |

非常点灯時は下表の光束値で点灯します。

| ランプ         | ランプ定格光束 (lm) | 光束比 | 非常点灯時光束 (lm) |
|-------------|--------------|-----|--------------|
| FHF32EX-N-H | 3520         | 30% | 1060         |

## 1 取付前の確認

- ランプを含む器具質量（約 3.7kg）に十分耐えるよう、取付ボルトの強度を確保する。

・取付ボルトを使用の場合は、W3/8 または M10 を使用する。

△警告  
器具の取付けは質量に耐える所に取付ける（落下の原因）

## 2 器具本体を取付ける

- (1) 電源線・アース線を器具本体のブッシュ付電源用穴から引き込んでおく。
- (2) 本体を取付ボルトに確実に取付ける。

△警告  
取付けが不完全な場合落下の原因

## 3 電源線を電源端子台に接続する

- (1) 電源線を電源端子台の差し込み穴に確実に差し込む。

△警告  
接続が不完全な場合は、接続不良による発熱により火災の原因

- (2) アース線を差し込み穴に確実に差し込む。

△警告  
アース工事は電気設備の技術基準に従い行う（アース工事が不完全な場合は感電・火災の原因）

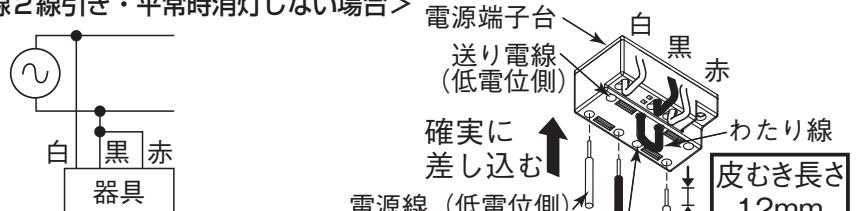
< D 種 (第 3 種) 接地工事が必要です >

- 電源端子台の容量は 20A です
- 適合電線：φ 1.6mm 単線 φ 2.0mm 単線
- 電源線は専用回路にする。

△警告  
送り配線は非常用照明器具専用とし、容量を確認して接続する（容量を超えると電源端子台が過熱・損傷し火災の原因）

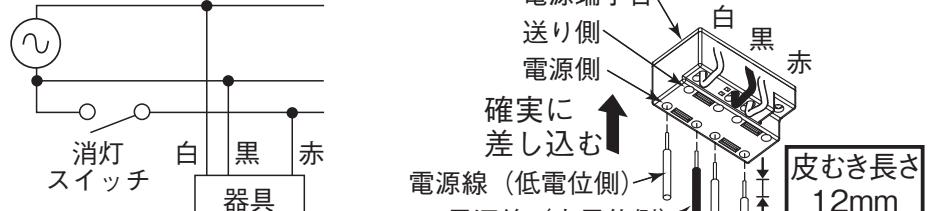
△警告  
電源の接続は適合太さの電源線の被覆を指定長さにむき、1 本ずつ速結端子の奥まで差し込む（差し込み不十分は接触不良により火災・感電の原因）

< 単相 2 線 2 線引き・平常時消灯しない場合 >



△警告  
分電盤と電源端子台の間には消灯スイッチを設けない

< 単相 2 線 3 線引き・平常時消灯する場合 >



・電源端子台のわたり線をはずす。

- 通電後、蓄電池のコネクタを接続してください。通電しないで蓄電池のコネクタを接続したまま放置すると、蓄電池が過放電します。
- 使用開始まで時間がある場合は、消灯するまで放電させた後、蓄電池のコネクタを外してください。
- 電源線を電源端子台から取り外すときは、幅 6mm のマイナスドライバーを、はずし穴へまっすぐに差し込んでください。

## 4 反射板を取付ける

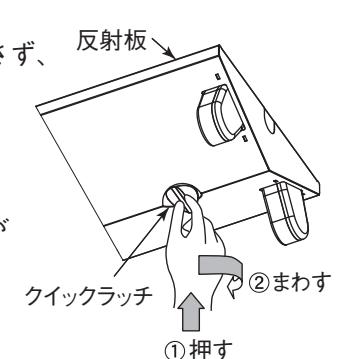
※反射板取付前に引き紐板が取付いていることを確認する。

- (1) 取付前の確認  
反射板を取付ける前に、クイックラッチの向きが右図のようになっていることを確認する。



- (2) 反射板の取付け  
○反射板に取付けてあるクイックラッチは外さず、反射板をそのまま本体ケースに装着する。  
○クイックラッチをつまみ、反射板側に押しつけながら 90 度回転させ、確実に反射板を取付ける。

注) 押し付けずに取付けると天井面にすき間が発生することがあります。



△注意

取付けが不完全な場合落下の原因

## 5 ランプを取付ける

- ランプピンをソケットに差し込み、ランプを確実に装着する。

△注意  
取付けが不完全な場合落下の原因

## 6 点灯を確認する

- (1) 通常点灯しない場合

- ・ランプはソケットに固定されていますか。
- ・誤配線をしていませんか。
- ・電源電圧は定格どおりですか。

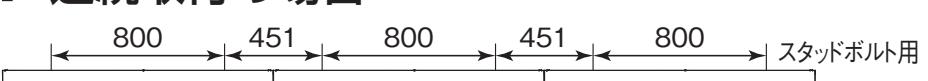
- (2) 非常点灯しない場合

- ・蓄電池と非常灯ユニットのコネクタははずれていませんか。
- ・蓄電池のヒューズは溶断していませんか。
- ・蓄電池は 48 時間以上充電してありますか。

- (3) 充電インジケータ（緑色の表示ランプ）が点灯しない場合

- ・電源は通電されていますか。
- ・蓄電池と非常灯ユニットのコネクタははずれていませんか。
- ・蓄電池のヒューズは溶断していませんか。

## 7 連続取付の場合



- (1) 右図のように付属の連結具を利用して本体を取付ける。

- (2) 反射板の取付けは反射板端板のノックアウトを外して取付ける。

(注) 連結数が多い場合（5～6 連結以上）

- ・本体は器具を連結する方向に引張り気味に取付ける。
- ・本体と反射板の取付けは中央部から両端に向かって順次取付ける。

